

読書感想文完全攻略ワークブック

～小学生・中学生のための書き込み式完全ガイド～

このワークブックは無料でダウンロード・印刷してご利用いただけます

【第 1 部】読書記録シート

本の基本情報

読む本について記入しよう

書名: _____

著者名: _____

出版社: _____ 発行年: _____ 年

ページ数: _____ ページ ジャンル: _____

読書開始日: ____ 月 ____ 日 読書終了日: ____ 月 ____ 日

第一印象メモ

表紙を見て思ったこと: _____

タイトルから想像したこと: _____

この本を選んだ理由: _____

5 段階評価チャート

面白さ :☆☆☆☆☆ 感動度 :☆☆☆☆☆ わかりやすさ:☆☆☆☆☆ 共感
度 :☆☆☆☆☆ おすすめ度 :☆☆☆☆☆

【第 2 部】心が動いた場面ランキング

BEST5 を選んで書いてみよう

第 1 位:最も心に残った場面

ページ:_____ページ

どんな場面: _____

なぜ心に残ったか: _____

印象的なセリフや文章:「_____」
_____」

第 2 位

ページ:_____ページ

どんな場面: _____

なぜ心に残ったか: _____

第 3 位

ページ:_____ページ

どんな場面： _____

なぜ心に残ったか： _____

第 4 位

ページ： _____ ページ

どんな場面： _____

第 5 位

ページ： _____ ページ

どんな場面： _____

感情の変化グラフ

本を読みながら感じた気持ちの変化を線で表そう

感情の
高まり



各ポイントでの気持ち：

- 読み始め： _____
- 1/4 地点： _____
- 半分： _____
- 3/4 地点： _____
- 読み終わり： _____

キーワード抽出シート

この本の重要な言葉を 10 個選ぼう

1. _____
2. _____
3. _____
4. _____
5. _____
6. _____
7. _____
8. _____
9. _____
10. _____

【第 3 部】自分体験マッピングシート

本の内容と自分の経験を結びつけよう

主人公と自分の比較

項目	主人公	自分
年齢		
性格		

項目	主人公	自分
得意なこと		
苦手なこと		
大切にしていること		
目標や夢		

似た経験探しワーク

主人公の経験: _____

それに似た自分の経験: _____

共通点と相違点の整理

共通点(似ているところ):

1. _____
2. _____
3. _____

相違点(違うところ):

1. _____
2. _____
3. _____

エピソード深掘りシート

一番似ている経験を詳しく書こう

いつ: _____

どこで: _____

誰と: _____

何があったか： _____

どう感じたか： _____

その経験から学んだこと： _____

【第 4 部】5W1H 分析シート

本の内容を整理して深く理解しよう

When(いつ)

物語の時代設定： _____

季節： _____ 時間帯： _____

期間： _____

Where(どこで)

主な舞台： _____

重要な場所：

1. _____
2. _____
3. _____

Who(誰が)

主人公： _____

重要な登場人物：

1. 名前：_____ 役割：_____
2. 名前：_____ 役割：_____
3. 名前：_____ 役割：_____

What(何が)

物語の中心となる出来事： _____

主人公が直面した問題： _____

Why(なぜ)

問題が起きた理由： _____

主人公の行動の動機： _____

How(どのように)

問題をどう解決したか： _____

結末はどうなったか： _____

【第 5 部】構成プランニングシート

感想文の設計図を作ろう

タイトル候補(3 つ考えて選ぼう)

1. _____
2. _____
3. _____

選んだタイトル: No. _____

段落ごとの内容整理

目標文字数: _____ 字 (原稿用紙 _____ 枚)

第 1 段落: 導入部 (全体の 15% : _____ 字)

書く内容: ☐ 本を選んだ理由 ☐ 第一印象 ☐ 読む前の期待 ☐ 簡単な本の紹介

メモ: _____

第 2 段落: 印象的な場面 (全体の 25% : _____ 字)

書く内容: ☐ 最も心に残った場面 ☐ その理由 ☐ 主人公への共感 ☐ 印象的なセリフ

メモ: _____

第 3 段落: 自分の体験 (全体の 30% : _____ 字)

書く内容: ☐ 似た経験の紹介 ☐ そのときの感情 ☐ 主人公との比較 ☐ 自分ならどうするか

メモ: _____

第4段落：テーマの考察（全体の20%：_____字）

書く内容：☐ 作者のメッセージ ☐ 現代社会との関連 ☐ 新しい発見 ☐ 深い考察

メモ： _____

第5段落：まとめ（全体の10%：_____字）

書く内容：☐ 最大の学び ☐ 今後への影響 ☐ 決意や目標 ☐ 締め言葉

メモ： _____

つなぎ言葉リスト

段落と段落をつなぐ言葉を選んでおこう

☐ また ☐ さらに ☐ そして ☐ しかし ☐ でも ☐ けれども ☐ なぜなら ☐ というのも ☐ つまり ☐ たとえば ☐ 実際に ☐ 確かに ☐ このように ☐ こうして ☐ 結果として

【第6部】表現力アップ辞典

感情表現 100 選

うれしい・楽しい系(20 個)

1. 心が弾む
2. 胸が高鳴る
3. 顔がほころぶ
4. 笑みがこぼれる
5. 気分が晴れる
6. わくわくする

7. 心が軽くなる
8. 希望に満ちる
9. 前向きになる
10. 元気が出る
11. やる気が湧く
12. 意欲的になる
13. 充実感を覚える
14. 満足感を得る
15. 達成感を味わう
16. 幸福感に包まれる
17. 喜びがあふれる
18. 歓喜する
19. 有頂天になる
20. 天にも昇る気持ち

悲しい・つらい系(20 個)

21. 心が沈む
22. 気持ちが重い
23. 胸が痛む
24. 涙があふれる
25. 目頭が熱くなる
26. 喉が詰まる
27. 言葉を失う
28. 打ちのめされる
29. 落ち込む
30. がっかりする
31. 失望する
32. 絶望的になる
33. やるせない
34. 切ない
35. 苦しい
36. つらい
37. 耐えがたい
38. 心が折れる
39. 立ち直れない
40. どん底に落ちる

驚き・衝撃系(20 個)

41. 目を見張る
42. 息をのむ
43. 言葉を失う
44. 固まる
45. 凍りつく
46. 鳥肌が立つ
47. 背筋が凍る
48. ぞっとする
49. はっとする
50. どきっとする
51. 心臓が止まりそうになる
52. 頭が真っ白になる
53. 衝撃を受ける
54. 雷に打たれたよう
55. 目から鱗が落ちる
56. 開眼する
57. 覚醒する
58. 価値観が変わる
59. 世界が変わる
60. 人生観が変わる

感動・感激系(20 個)

61. 心が震える
62. 胸が熱くなる
63. 込み上げるものがある
64. じーんとくる
65. しみじみする
66. 心に響く
67. 心を打たれる
68. 感銘を受ける
69. 魂が揺さぶられる
70. 深く感じ入る
71. 琴線に触れる
72. 心の奥底に届く

- 73. 忘れられない
- 74. 一生の思い出になる
- 75. 心に刻まれる
- 76. 記憶に焼き付く
- 77. 感慨深い
- 78. 感無量
- 79. 言葉にならない
- 80. 筆舌に尽くしがたい

考える・悩む系(20 個)

- 81. 考えさせられる
- 82. 深く考え込む
- 83. 思案する
- 84. 熟考する
- 85. 自問自答する
- 86. 葛藤する
- 87. 迷う
- 88. 悩む
- 89. 困惑する
- 90. 戸惑う
- 91. 疑問を抱く
- 92. 違和感を覚える
- 93. 納得できない
- 94. 理解に苦しむ
- 95. 首をかしげる
- 96. 考えが変わる
- 97. 認識を改める
- 98. 見直す
- 99. 反省する
- 100. 教訓を得る

書き出しパターン 30 選

問いかけ型(5 個)

1. もし自分が主人公だったら、同じ行動ができたでしょうか？
2. 本当の勇気とは何だろう？この本がその答えを教えてくれた。
3. なぜ人は困難に立ち向かうのか？その理由がこの本にあった。
4. 友情に値段はつけられるだろうか？この物語はそう問いかける。
5. 幸せとは何か？読み終えた今、新しい答えが見つかった。

印象的な一文型(5 個)

6. 最後のページを閉じた瞬間、涙が止まらなくなった。
7. この本との出会いが、私の人生を変えることになるとは思わなかった。
8. 一気に読み終えて、しばらく放心状態だった。
9. 読む前と読んだ後で、世界の見え方が 180 度変わった。
10. ページをめくる手が震えるほどの衝撃を受けた。

セリフ引用型(5 個)

11. 「強くなくていい、優しくあれ」主人公のこの言葉が心に刺さった。
12. 「明日は必ず来る」この一言に、どれだけ救われたことか。
13. 「失敗は成功の母」使い古された言葉の本当の意味を知った。
14. 「ありがとう」たった 5 文字に込められた深い意味を学んだ。
15. 「夢は逃げない、逃げるのはいつも自分」この真実に気づかされた。

状況説明型(5 個)

16. 秋の夜長、一冊の本を手にとった。それがすべての始まりだった。
17. 図書館の片隅で、埃をかぶった一冊の本を見つけた。
18. 友達に勧められて、半信半疑でページを開いた。
19. 表紙の絵に惹かれて、何気なく手に取った本だった。
20. 課題図書として仕方なく読み始めた本が、宝物になった。

体験談型(5 個)

21. 去年の夏、私も主人公と同じような経験をした。
22. この本を読んで、5 年前の出来事を鮮明に思い出した。
23. つい先日、まさに本の中と同じ状況に直面した。
24. 小学生の頃の苦い思い出が、この本でよみがえった。
25. 今まさに悩んでいることの答えが、この本にあった。

対比型(5 個)

26. 昨日までの私と、今日の私は違う。この本のおかげだ。
27. 読書が苦手な私が、この本だけは一気に読み切った。
28. いつもは流し読みする私が、一字一句大切に読んだ。
29. 普段は感情を表に出さない私が、人目もはばからず泣いた。
30. これまで 100 冊以上読んだが、これほど心に残る本は初めてだ。

締め言葉 20 選

1. この本との出会いに感謝したい。
2. 一生大切にしたい一冊になった。
3. 何度でも読み返したいと思う。
4. この学びを胸に、前に進んでいきたい。
5. 主人公のように、強く生きていこうと決意した。
6. この本が教えてくれたことを、決して忘れない。
7. 新しい自分への第一歩を踏み出せた気がする。
8. 読んでよかったと、心から思える作品だった。
9. この感動を、多くの人と分かち合いたい。
10. 人生の指針となる言葉をもたらした。
11. 迷ったときは、この本を開こうと思う。
12. 著者への感謝の気持ちでいっぱいだ。
13. この本に出会えた自分は幸運だと思う。
14. 読書の素晴らしさを改めて実感した。
15. 物語は終わったが、私の挑戦は始まったばかりだ。
16. この本の教えを、日々の生活に活かしていきたい。
17. 新たな視点を得て、世界が広がった。
18. 本を閉じて、物語は私の中で生き続ける。
19. この経験を糧に、成長していきたい。
20. 読書感想文を書いて、本当によかった。

【第 7 部】学年別テンプレート集

小学 1・2 年生用(原稿用紙 2 枚・400 字)

かんたんテンプレート

『(本の名前)』を読んで

わたしは、『_____』を読みました。

この本は、_____のお話です。

いちばん心にのこったのは、_____の ところです。

なぜかという、_____だからです。

わたしも、_____したことがあります。

そのときは、_____でした。

この本を読んで、_____ことがわかりました。

これからは、_____したいです。

小学 3・4 年生用(原稿用紙 3 枚・600 字)

標準テンプレート

『(書名)』を読んで

私が『_____』を選んだ理由は、_____ だったからです。

この本は、_____という 物語です。主人公の _____は、_____な子で、 _____という問題に直面します。

最も心に残った場面は、_____の場面です。 _____
_____という出来事があり、主人公は _____ しました。

この場面を読んで、私は_____と感じました。なぜなら、_____
_____だからです。

私にも似た経験があります。_____のとき、_____ということ
がありました。そのとき私は、_____と思い、_____
しました。

主人公と私の共通点は、_____ところです。でも、_____
という点では違っていました。

この本から、_____ということを学びました。これからの生活では、_____
_____を大切にして、_____な人になりたいです。

小学 5・6 年生用(原稿用紙 4 枚・800 字)

上級テンプレート

タイトル: _____

【導入: 印象的な書き出し】 _____

私が『_____』という本を手にとった理由は、_____だ
ったからだ。_____という期待を持って読み始めた。

【あらすじと印象的な場面】 この物語は、_____という
話だ。主人公の_____は、_____な性格で、_____という
困難に立ち向かう。

私の心を最も動かしたのは、_____の場面だ。 _____
_____。特に「_____」というセリフが印象的
だった。

【自分の体験との比較】 この場面を読んで、私は_____の出来事を思い出した。
_____。あの時の私は、_____
_____と感じていた。

主人公の行動と比較すると、_____。もし私が主人公の立場だったら、_____していただろう。

【テーマについての考察】作者がこの本で伝えたかったことは、_____ということだと思う。現代の社会でも、_____という問題があり、この本のメッセージは重要な意味を持っている。

【結論と今後への決意】この本を読んで、私は_____ということを読んだ。_____の大切さを改めて認識した。

これからの生活では、_____を心がけ、_____な人間になれるよう努力したい。この本との出会いは、私にとって_____だった。

中学生用(原稿用紙 5 枚・1000 字)

発展テンプレート

タイトル: _____

【序論: 問題提起や印象的な導入(150 字)】 _____

【本の概要と選書理由(150 字)】 私が『_____』を選んだのは、_____という理由からだ。この作品は、_____を描いた物語で、_____というテーマを扱っている。

【印象的な場面の分析(250 字)】 最も印象に残ったのは、_____の場面である。_____。主人公の_____という行動は、_____を象徴していると感じた。

この場面で特に心を打たれたのは、_____という描写だ。_____。

【自己の経験と重ね合わせ(300 字)】 この場面を読んで、私は_____の経験を思い出した。 _____。

当時の私は、_____という葛藤を抱えていた。_____。

主人公と私の決定的な違いは、_____という点だ。もし今同じ状況になったら、_____という選択をすると思う。

【社会的視点での考察(150 字)】この物語が提起する問題は、現代社会においても重要だ。_____という現象は、_____を示唆している。

【結論:学びと決意表明(150 字)】この本から得た最大の学びは、_____ということだ。_____。

今後は、_____を意識し、_____な人間を目指していきたい。この読書体験は、私にとって _____なものとなった。

【第 8 部】推敲チェックシート

100 点満点の自己評価表

内容面(50 点)

チェック項目	配点	自己評価
本を選んだ理由が明確	5 点	____点
あらすじが簡潔（全体の 2 割以下）	5 点	____点
印象的な場면을具体的に描写	10 点	____点
自分の体験を詳しく書いている	10 点	____点
主人公との比較ができている	5 点	____点
作者のメッセージを考察している	5 点	____点
学びや成長を明確に書いている	5 点	____点
今後への決意が述べられている	5 点	____点

内容面合計:____／50 点

表現面(30 点)

チェック項目	配点 自己評価
書き出しが印象的	5 点 ____点
感情表現が豊か	5 点 ____点
具体的な描写がある	5 点 ____点
同じ表現の繰り返しがない	5 点 ____点
段落構成が適切	5 点 ____点
文章の流れが自然	5 点 ____点

表現面合計: ____ / 30 点

形式面(20 点)

チェック項目	配点 自己評価
文字数が適切 (指定の 9 割以上)	5 点 ____点
文体が統一されている	5 点 ____点
誤字脱字がない	5 点 ____点
原稿用紙の使い方が正しい	5 点 ____点

形式面合計: ____ / 20 点

総合評価

総合得点: ____ / 100 点

- 90 点以上：素晴らしい！自信を持って提出しよう
- 80～89 点：よくできている！もう少し磨いてみよう
- 70～79 点：基本は OK！表現を工夫してみよう
- 60～69 点：もう一度見直して改善しよう
- 59 点以下：基本から見直してみよう

改善ポイント診断

得点が低かった項目の改善方法

□ 印象的な場面の描写が弱い → 五感を使った表現を追加する → そのときの心情を詳しく書く → 具体的なセリフや行動を入れる

□ 自分の体験が薄い → いつ、どこで、誰と、を明確に → そのときの感情を詳しく → 学んだことを具体的に

□ 感情表現が単調 → 表現力アップ辞典を活用 → 比喻や擬人法を使う → 体の感覚で表現する

□ 文章の流れが悪い → つなぎ言葉を効果的に使う → 段落の最初と最後をつなげる → 時系列を整理する

提出前最終チェックリスト

必須確認項目(すべてチェック)

- ☐ タイトルを書いた
- ☐ 学年・クラス・氏名を書いた
- ☐ 原稿用紙の使い方が正しい
- ☐ 指定文字数の9割以上書けている
- ☐ 誤字脱字を確認した
- ☐ 句読点の位置を確認した
- ☐ 段落分けができている
- ☐ 文体が統一されている
- ☐ 本の題名を正確に書いた
- ☐ 著者名を正確に書いた

推奨確認項目(できるだけチェック)

- ☐ 音読して不自然な箇所がないか確認した
 - ☐ 家族や友達に読んでもらった
 - ☐ 一晩寝かせて読み直した
 - ☐ 書き出しと結論が対応している
 - ☐ 全体のバランスが良い
-

【第 9 部】原稿用紙マスターガイド

正しい使い方完全図解

1. タイトルと名前の書き方

心 | に | 響 | い | た | 一 | 冊 |

年 | 山 | 田 |

- タイトルは上から 3 マス目から書き始める
- 名前は下から 2 マス目に書き終わるように調整
- 学年と名前の間は 1 マス空けない

2. 本文の書き方

私がこの本を選んだ理由は、表紙の
絵に惹
かれたからです。

最も印象的だったのは、主人公が勇
気を出

- 段落の最初は 1 マス空ける (字下げ)
- 句読点は 1 マスに 1 つ
- 行の最初に句読点を書かない

3. 会話文の書き方

主 人 公 は 言 い ま し た 。

「 ぼ く は あ き ら め な い 。 」

そ の 言 葉 に 、 私 は 感 動 し ま し た 。

- 会話文は改行する
- かぎかっこは 1 マスずつ使う
- 会話文の最初は 1 マス空けない
- 句点とかぎかっこは同じマスに入れる

4. 数字・アルファベットの書き方

2024年10月15日に読みました。

○ 正しい

| | | 読 | 書 | 感 | 想 | 文 | |

美しく見せるコツ

1. 文字の大きさを揃える
2. マスの中央に文字を書く
3. 濃さを均一にする
4. 丁寧に一文字ずつ書く
5. 消しゴムの跡を残さない

【第 10 部】保護者サポートガイド

学年別の声かけ例

小学 1・2 年生への声かけ

「どんなお話だった？」→ まず内容を思い出させる

「誰が出てきた？」→ 登場人物を整理する

「一番好きなところはどこ？」→ 印象的な場面を見つける

「どんな気持ちになった？」→ 感情を言葉にする練習

「自分だったらどうする？」→ 主体的に考える習慣

小学 3・4 年生への声かけ

「なぜその場面が好きなの？」→ 理由を考える練習

「主人公のどこがすごいと思う？」→ 分析的に読む練習

「似たような経験はある？」→ 自分と結びつける

「そのとき、どう感じた？」→ 感情を詳しく表現

「この本から何を学んだ？」→ 学びを言語化する

小学 5・6 年生への声かけ

「作者は何を伝えたかったと思う？」→ テーマを考える

「現実の社会でも同じことがある？」→ 社会とつなげる

「主人公の行動をどう評価する？」→ 批判的に読む

「別の結末は考えられる？」→ 創造的に考える

「この本を友達に勧めるとしたら？」→ 要約と推薦の練習

中学生への声かけ

「この本のテーマは何だと思う？」→ 抽象的思考の練習

「作者の立場に共感できる？」→ 多角的視点の獲得

「現代社会の問題とどうつながる？」→ 社会的視点の育成

「自分の価値観は変わった？」→ 自己の変化を認識

「10 年後も覚えていたい言葉は？」→ 本質を見抜く力

子どもがつまづいた時の対処法

「何を書けばいいかわからない」と言われたら

1. まず本の写真や表紙を一緒に見る
2. 「この絵を見てどう思う？」から始める
3. 少しずつ本の内容を思い出させる
4. メモを取りながら話を聞く
5. メモを整理して構成を作る

「書き始められない」と言われたら

1. 一番書きたいことから書かせる
2. 順番は後で入れ替えれば OK と伝える
3. まず短い文を書かせる
4. それを膨らませていく
5. 完璧でなくていいと励ます

「文字数が足りない」と言われたら

1. 「なぜ?」「どうして?」と深掘りする
2. 具体的なエピソードを追加する
3. 感情表現を豊かにする
4. 五感を使った描写を入れる
5. 自分の体験を詳しく書く

褒めポイントの見つけ方

内容面で褒める

- 自分の体験を書けたこと
- 感情を表現できたこと
- 主人公と比較できたこと
- 学びを見つけられたこと
- 最後まで書き上げたこと

表現面で褒める

- 印象的な書き出し
- 豊かな感情表現
- 上手な比喻
- 自然な文章の流れ
- オリジナルな視点

努力面で褒める

- 諦めずに取り組んだこと
- 何度も書き直したこと
- 辞書を使って調べたこと

- 丁寧に清書したこと
- 期限を守ったこと

保護者の心構え

やってはいけないこと

1. 代わりに書いてしまう
2. 他の子と比較する
3. ダメ出しばかりする
4. 完璧を求める
5. 急かす

大切にしたいこと

1. 子どもの感性を尊重する
 2. プロセスを褒める
 3. 一緒に考える姿勢
 4. 待つことの大切さ
 5. 読書の楽しさを伝える
-

おわりに

このワークブックを使って

読書感想文は、本と自分をつなぐ大切な作業です。このワークブックを使って、一つずつステップを踏んでいけば、必ず素晴らしい感想文が書けるようになります。

使い方のコツ

1. 全部埋める必要はありません
2. 書きやすいところから始めましょう
3. 何度でも書き直して OK です
4. 自分の言葉を大切にしましょう

5. 楽しみながら取り組みましょう

最後にメッセージ

読書感想文は、あなたの成長の記録です。今は難しく感じるかもしれませんが、書き終えたときの達成感は格別です。

本との出会いが、あなたの人生を豊かにしてくれます。素晴らしい読書体験と、心に残る感想文が書けることを心から応援しています！

制作: 読書感想文サポートプロジェクト 発行: 2024 年 11 月 無料配布版 v1.0

※このワークブックは自由にコピー・配布していただけます ※学校・塾での使用も可能です ※商用利用も OK です